

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・要旨把握や意見文等の活動を通して書く力を養う。 ・漢字検定の校内実施 ・様々な教材を通じて言語感覚を磨き、話し合う活動等を通して表現する力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定合格に向けた講習の実施。 ・自ら立てた問いについて探求しようとする態度を養う。 ・グループ活動を通して他者の意見と比較検討することで新たな価値観を知り、その成果を表現できる力を養う。
地歴公民	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識の定着と、社会的事象への興味・関心をもち、思考力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いを立て、主体的に学習活動に取り組むことを想定したワークシートの作成。 ・協働学習による社会的事象を多角的に思考する力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象についての考察を文章でまとめる。 ・テーマを設定し、ICTを活用し発表する。 ・大学入試に対応できる知識の定着。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・興味/関心を抱かせる数学的授業(数学が面白いと生徒に感じさせる授業) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインツールによる動画・宿題配信 ・教科会における生徒情報の共有の徹底 ・基礎レベルの単元別小テストの実施(定着度平均80%以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎レベルの定着に留まらず、数学意欲の高い生徒には長期休業中等に適宜講習を実施する。また、一般受験希望者には数学検定を促し、個別講習を実施し高いレベルでの定着を試みる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究につながる指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目の履修によって知的好奇心を深めさせ、育まれた知的好奇心に基づいて、課題研究の課題を生徒が自ら設定できるようになる教育活動を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決を図る学習を通して、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を育てるとともに、自己の将来の進路選択を含め人間としての在り方生き方について考察させる。
保健体育科	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現できる資質・能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の運動の特性に応じた技能を習得させ、社会生活における健康・安全について理解を深めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康について自己や社会の課題を発見し、解決に向けて思考判断し、他者に伝えられるようにする。
芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・「意図に基づいて表現する」意識を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・各課題において、表現の意図を明確に言語化させる活動に取り組む。 ・鑑賞領域において、表現の意図について考える活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事、文化祭、発表会等に作品等を発表
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・4技能5領域の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語練習プリント、単語テストによる語彙力の向上 ・端末を利用した音読テストの実施 ・スタディサプリの配信 ・リスニングテストの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・JET,ALTを活用したパフォーマンステストの多角的な評価 ・観点別評価における細目と評価方法の探究 ・オンライン英会話事業における複数年次による円滑な運営
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・「よりよく幸せに生きる」ために必要な、知識・技術の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目における実習の充実 ・グループワークによる体験的理解の推進 ・現状把握能力と課題解決能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の振り返り・分析を行うことで、より深い学びにつなげる。 ・グループワークにより、主体的な学びを充実させる。 ・社会状況の変化に対応できるよう情報収集能力を身に付けさせる。
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題解決」等につながる実習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書選定時に課題解決型実習を多様しているものを選定 ・補助教材を導入し、社会課題の解決に利用する ・情報Ⅰの各単元の最終課題で、グループ(協働学習)による探究的な学習を実施 ・実習を通して、生徒一人一台端末の利用を促進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報Ⅱ等でプログラミングやデータ活用などを学び、情報で学ぶ技術の実社会での活用について学習する。 ・情報Ⅰにおいて、生成AI(都立AI)を活用した課題解決実習を取り入れる。
商業	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会に生きる力の養成と課題発見・探究活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業人・職業人として必要な知識・技術の習得に重点を置いた授業の実践 ・検定資格取得の推進 ・課題解決における分析や考察の過程を重視した授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検定試験の取得(簿記、情報処理、ワープロ、秘書) ・企業やNPO団体と連携した授業の展開(特別講義や体験型授業)